

社会保険田川病院 地域医療連携だより

●地域医療支援病院 ●地域がん診療連携拠点病院 ●日本医療機能評価機構認定病院 ●基幹型・協力型臨床研修病院 ●産科医療補償制度
加入分娩機関 ●福岡県肝疾患専門医療機関 ●日本がん治療認定医機構認定研修施設 ●救急告示病院 ●開放型病院

2015
vol.1

平成27年8月
発行

外科医長就任にあたって

外科医長 吉村 文博



このたび、平成 27 年 7 月 1 日付けで外科医長に就任いたしました吉村文博と申します。諸先生方のご尽力により発展してきた筑豊地区の医療に少しでも貢献できるよう全力を尽くす所存でございます。これまでにご支援をいただいております先生方に心より感謝申し上げますとともに、引き続き皆様方のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

以下に簡単ではございますが、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。私は久留米に生まれ育ち、平成 12 年に久留米大学医学部を卒業した後、久留米大学外科学講座に入局、以後久留米大学関連病院に出向しておりました。

その後、内視鏡外科手術後の患者さんの回復の速さや、開腹手術を凌駕する手術の精緻さに魅了され、これを極めたいとの思いが強く、平成 20 年に藤田保健衛生大学病院 上部消化管外科 宇山一朗教授の門を叩き入局させていただきました。宇山一朗先生は世界で初めての腹腔鏡下胃全摘術執刀医、ロボット支援下手術ダヴィンチの導入、また王貞治氏や多数の著名人の執刀医としても有名であります。そこで多くの同じ思いを持つ仲間や上司と出会い、内視鏡外科技術認定医や学位、ダヴィンチの certification も取得させていただきました。平成 24 年 4 月より同講座の講師となりましたが、同年 10 月に大阪赤十字病院外科 金谷誠一郎先生よりお誘いがあり、大阪赤十字病院で 2 年 6 カ月勤務いたしました。年間約 130 例の胃癌手術、約 30 例の食道癌手術を、金谷と私二人で執刀あるいは指導をするという立場にあずかり、非常に多くの貴重な経験をさせていただきました。放射線照射後の食道癌、残胃癌や胃全摘・脾摘などの難症例も全例、鏡視下手術で行って来ました。術後合併症もほとんどなく、食道癌では縫合不全 0 %、胃癌に関しても脾液瘻、縫合不全 1 % 以下と良好な成績を収めてきました。これまでに上部消化管領域（食道・胃）以外にもヘルニア、虫垂炎、胆摘、脾摘、潰瘍穿孔なども全例、内視鏡外科手術で行って来ました。

消化器外科領域は内視鏡外科手術のめざましい進歩、普及を遂げております。一方で技量の未熟な医師により始められる内視鏡外科手術は、合併症を増加させ、癌の手術においては郭清効果を落とし、患者さんに不利益を生じかねません。このようなことは決してあってはならないことです。本来、内視鏡外科手術は拡大視効果や気腹による微細出血の減少、癒着の軽減など熟練した医師が行えば開腹手術にくらべ遜色のない、むしろそれを凌駕する手術だと考えております。また、拡大視により新たな微細解剖が分かり、教育効果も非常に高い手術です。

基本的に、どのような症例でも鏡視下手術で安全に精緻に行うことが可能だと考えていますし、患者さんが希望されれば必ずそれに応えたいと思っております。ただ、まず我々のすべきことは、ご紹介いただいた患者さんお一人おひとりに安全で確実な手術を提供するとともに、次世代を担う若手外科医の教育を行っていくことであると考えております。質の高い手術を提供すれば患者さんに合併症は起きません。質の高い手術を提示すれば必ずよい外科医も育ちます。そのためにも日々緊張感を持って手術に臨んでまいりましたし、これからもその気持ちに変わりはありせん。ただ教育のためにはある一定の症例数の経験も必要となつてまいりますので、もし、患者さんの内視鏡外科手術へのご希望がありましたらご紹介いただければ幸いです。

最後になりますが、これまで諸先輩方により支えられ、そして発展してきました社会保険田川病院、ならびに筑豊地区の医療をますます良いものにしていき、次世代に教育、継承していくことが私たちの使命だと考えております。微力ながら社会保険田川病院の外科医長として皆様方のご指導、ご支援を得て、職務を全うすべく全力を傾注する所存でございますので、今後とも、これまでどおりのご厚情をよろしくお願い申し上げます。

●所属学会と認定資格 日本外科学会（専門医・指導医）／日本消化器外科学会（消化器がん外科治療認定医・専門医・指導医）／日本内視鏡外科学会（技術認定医・評議員）／日本気管食道科学会（食道科専門医）／日本消化管学会（認定医・胃腸科暫定専門医・胃腸科暫定指導医）／日本消化器病学会（専門医）／日本食道学会（食道科認定医）／日本乳癌学会（認定医）／日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・暫定教育医／日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医／日本臨床外科学会／日本胃癌学会／日本胸部外科学会／日本ロボット外科学会／日本腹部救急医学会／日本消化器内視鏡学会／医学博士

★第 41 回胃外科・術後障害研究会 研究奨励賞受賞／★手術手技研究会 第 1 回ビデオ賞上部消化管領域受賞

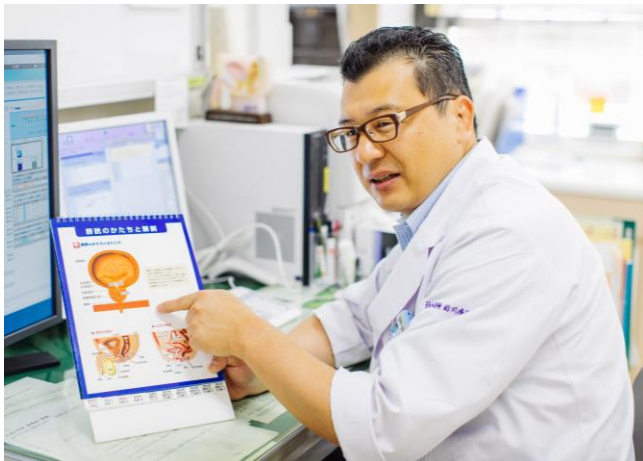


まごころと、安心と、信頼と

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会

尿路結石碎石装置(リソクラスト®)の導入について

泌尿器科部長 宮 島 次 郎

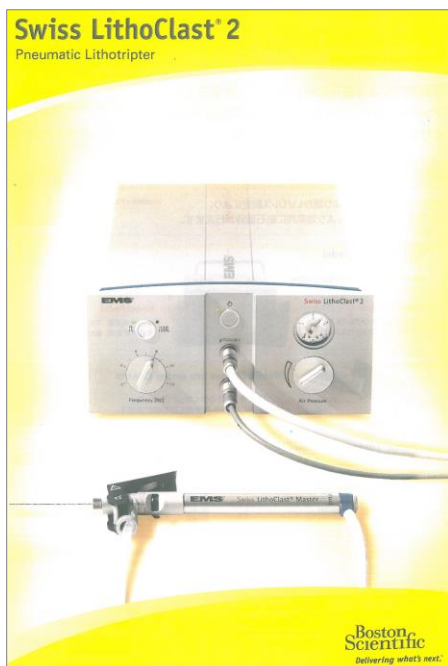


尿路結石は臨床場で遭遇する機会の多い救急疾患の1つであり、2005年の統計によると男性では7人に1人が、女性でも15人に1人が一生の内に1度は罹患する可能性があると報告されています。更にその数は年々増加しています。しかし、その原因については不明な点も多く、生活習慣病との関連が指摘されていますが、未だに発生の明確なメカニズムや再発予防については殆ど解明されていないのが現状です。他方、尿路結石の外科的治療法は近年劇的な進歩を遂げており、特に内視鏡治療の進歩は著しく、現在では体外衝撃波による治療(ESWL)よりも内視鏡手術(TUL)を第一選択とするケースが増加しています。というのも体外衝撃波による治療は、外来治療が

可能という利点はあるものの、残石による結石の再発が多いこと、結石の破碎は可能でも破砕片の抽石が不可能なこと、骨盤部尿管の結石には治療困難なケースが多いことなどの欠点があるからです。これらの点より最近では、ガイドライン上でも中部～下部尿管結石に対する外科的治療は経尿道的な結石破碎術の方を第一選択に勧めています。経尿道的な尿路結石碎石術は入院治療が必要ではありますが、結石を直視下に観察しながら破碎できるため治療効果が高いこと、結石の破砕片の抽石も可能であること、骨盤部尿管結石に対しては体外衝撃波より確実に治療成績が良いことなどの利点があります。欠点としては、入院・麻酔下での処置が必要なこと、稀に尿管損傷や術後尿管ステントの一時留置が必要な点などがあります。

当院は救急患者の受診が多く、尿路結石症の救急患者も多数受診されますが、今までは当院に尿路結石に対する外科的治療器具が無かったため、外科的治療が必要な患者さんは、救急処置後に他院に紹介することを余儀なくされてきました。しかしこの度、空気圧による尿路結石碎石装置(商品名:リソクラスト®)を導入することにより内視鏡的な外科的治療が可能となりました。この器具は結石破碎時の尿管損傷の可能性が低いこと、吸引により小さな破砕片まで除去できること、破碎効率が高く大きな結石治療にも適応可能なことなどの特徴があります。

今後は当科でも尿路結石に対する外科的治療を積極的に行っていく予定であり、今まで他院に紹介していた尿路結石に対する救急対応や、患者さんの希望に合わせた即時手術も可能となります。尿路結石の症例がありましたらぜひとも御紹介をお願いいたします。



Ureterorenoscopes

8/9.8F・6/7.5F ウレテロレノスコープ セット

耐久性の高い合金を使用し、薄いスコープシースを実現

- ▶ 50,000ピクセルの高解像度により鮮明なイメージサークルを提供(8/9.8F)
- ▶ 耐久性を損なわずに、より細径、軽量化
- ▶ 大きなイリゲーション/ワーキングチャンネル

Cysto/Nephroscope

ユニバーサル シスト/ネフロスコープ セット

経尿道的膀胱結石破碎術及び、
経皮的腎砕石術(PNL)にも広く対応します

- オペレーティング シスト/ネフロスコープ
- オペレータ: ガイドワイヤの挿入ができます
- オペレーティングシース

Enhanced Image Quality

全視野は50,000ピクセル、8/9.8Fは30,000ピクセルと高解像度を確保。大きく明るい視野を確保し、安全な内視鏡治療をサポートします。

Simple Lithotripsy

スネークワーキングチャンネルはリソクラストのプローブやワイヤにも対応しています。

Enhancing Quality

コーティングやメッキされたバーブがないため、オートスレープ減速率はしお、蛇の減速の速に抑えます。

Automatic Working Channel Seal

オートマチックバルブを採用、インスラムメンバートの閉鎖機構が不要となり、尿管口周囲の漏れ防止の心配がありません。

Less Traumatic

より細径になり、シース先端は硬度が低いスチールコアを採用。尿管口への挿入が容易となり、尿管への損傷を防止します。

Less Weight

薄く、軽量のステンレススチールを採用。軽量化によりハンドリングを容易にします。

Scope Accessories

Forceps フォーセプス
ハンドルの取り外しが可能となり、より扱いやすくなりました。

- ディテクタブル ハンドル
- アダプター フォーセプス
- スネークラップ フォーセプス

緩和ケア研修会開催報告

麻酔科部長 柳 瀬 豊



7月11日(土)、12日(日)の二日間、当院講堂にて第7回緩和ケア研修会を開催しました。この緩和ケア研修会は、がん診療連携拠点病院の指定要件として年に1回以上の開催が義務付けられており、当院においても2009年に第1回目を開催し毎年24名の参加者を募り7月に開催しております。

研修会の開催者には、日本緩和医療学会もしくは国立がんセンター主催の指導者研修の修了が義務付けられており、当院では田中院長と私が資格を取得しております。

この指導者研修は、二泊三日(俗に言う缶詰状態)で行われ、研修会運営に関するノウハウ

を徹底的に叩き込まれます。研修内容の注意点に留まらず、参加者を飽きさせない講義の進め方や意見を聞き出す際の言葉のテクニック、マイクの差し出し方まで、色々なスキルをこれでもかというくらい教え込まれました。今年度中には外科の日高先生、白土先生、内科の相野先生も指導者研修を受講予定です。

また、当院での研修会開催に当たっては、久留米大学麻酔科で緩和ケアのスペシャリストの佐野智美先生や精神科で先進漢方医学講座の恵紙英昭教授も毎年応援に来てくださり、他の施設にない恵まれた環境で研修会が行われています。

今年の研修会は医師19名、看護師6名の参加予定でしたが、3名の欠席者が発生し22名による研修会となりました。研修会は、講義、ワークショップ、ロールプレイ(疑似体験)で行われますが、極めて基本的な内容です。

講義では、がん患者の痛みをはじめとした様々な問題に対する評価の仕方や対処方法を学んで頂きます。特にがんの痛みを取るための麻薬をはじめ特殊薬の使用法、さらに呼吸困難や吐き気といった問題に対する考え方や薬の使い方、がん患者特有の精神症状に対する薬の使い方など、明日からの診療にすぐに活かせる研修内容になっています。ワークショップでは、6名1グループで症例検討を行い、トータルペインに配慮した症状緩和や在宅医療導入の際の問題点などについて活発な討議が行われました。さらに、この研修会の特徴ともいえるロールプレイでは、医療用麻薬使用に際し、患者や家族の誤解を解き円滑に導入ができるようにするためのテクニックや、副作用などの説明が十分できるようになるためのテクニックを学んでいただきます。精神領域のロールプレイでは、難治癌に対し治療中止を伝える際のコミュニケーションスキルも疑似体験を通じて学んでいただきます。

二日間で13時間以上の研修内容を課せられておりますが、内容が非常に充実しており毎回参加者より高い評価をいただいております。これまでに、医師107名、歯科医師4名、メディカルスタッフ58名(看護師46名、薬剤師3名、放射線技師3名、管理栄養士4名、メディカルソーシャルワーカー1名、作業療法士1名)が当院での研修を修了しており、医師には厚生労働省より、またメディカルスタッフには福岡県より修了証書が発行されております。

2009年より始まったこの研修会も、反省と改善が加えられ、来年度は新たなプログラムによる開催となります。国はこのような研修会を通じて、すべての医療従事者に、がん患者に対する理解を深めるよう働きかけています。今後も研修会は継続していきますので、興味のある方は・・・ではなく、すべての医師と多くのメディカルスタッフの皆さんの研修会参加をお待ちしております。



久留米大学麻酔学講座 佐野智美先生



今回受講いただいた久留米大学病院長の坂本照夫先生とともに。

■ 社会保険田川病院 診療医案内

診療受付時間 / 8：30～11：00（急患はこの限りではありません）

平成27年8月1日現在

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	消 化 器	新 患	前川 隆一郎	宮原 健輔	榊原 重成	森 敦	相野 一	交代で診察
			重藤 宏太	－	－	－	－	
			伏見 崇	－	－	－	－	
		再 来 (予約)	宮原 健輔	前川 隆一郎	森 敦	重藤 宏太	榊原 重成	
			－	森 敦	相野 一	榊原 重成	伏見 崇	
			－	－	－	宮原 健輔	－	
	呼 吸 器	新患・再来	向野 達也	－	坂元 暁	向野 達也	今岡 治樹	
	循 環 器	新患・再来	上野 聡史	岡部 浩太	大塚 昌紀	岡部 浩太	大島 英樹	
糖 尿 病	新患・再来	－	岩田 慎平	安部 健太郎	－	－	牧 俊允 (1,2,3,5週) 木村 真一郎 (4週のみ) 山下 真 (1,3,5週)	
小 児 科	新患・再来	石井 隆大	伊藤 早織	石井 隆大	石井 隆大	石井 隆大	石井 隆大	
外 科	新患・再来	田中 裕穂	白土 一太郎	田中 裕穂	吉村 文博	日高 敦弘	日高・吉村・白土・大地 (交代で診察)	
	再来 (予約)	竹中 美貴	加来 秀彰	仕垣 隆浩	大地 貴史	－		
	乳腺専門	新患・再来	－	－	－	－		竹中 美貴
整 形 外 科	新患・再来	宮崎 剛	南 公人	南 公人 (1,3,5週)	庄田 孝則	宮崎 剛	交代で診察 ※受付は10時まで。	
		南 公人	久能 義史	庄田 孝則 (2,4週)	－	－		
		庄田 孝則	－	－	－	－		
	(注)土曜日の受付は10時まで	予 約	－	庄田 孝則	宮崎 剛	南 公人	－	－
脳 神 経 外 科	新患・再来	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	－	※土曜日は新患の 受付はありません。	
		笹平 俊一	笹平 俊一	－	笹平 俊一	笹平 俊一		
		川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	－		川場 知幸
	予 約	笹平 俊一	笹平 俊一	－	笹平 俊一	笹平 俊一	笹平 俊一	
産 婦 人 科	新 患	河野 亮介	黒松 肇	稗田 太郎	畑 春香	河野 亮介	新患のみ	
	再来(産 科)	稗田 太郎	畑 春香	黒松 肇 畑 春香(13:30～)	河野 亮介	稗田 太郎		
	再来(婦人科)	黒松 肇 畑 春香	稗田 太郎	河野 亮介	－	黒松 肇		
泌 尿 器 科	新患・再来	宮島 次郎	宮島 次郎	綾塚 仁志	宮島 次郎	清水 志乃	休 診	
	紹介患者	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎		
形 成 外 科	新患・再来	森 成一郎	森 成一郎	森 成一郎	休 診	森 成一郎	森 成一郎	
皮 膚 科	新患・再来	御厨 賢	御厨 賢	辛島 正志	御厨 賢	御厨 賢	休 診	
耳 鼻 咽 喉 科	新患・再来	進 保朗	進 保朗	進 保朗	休 診	進 保朗	進 保朗	
		－	(大学医師)	小野 剛治		進 武一郎	(大学医師)	
眼 科	新患・再来	青木 剛	青木 剛	青木 剛	青木 剛	青木 剛	青木 剛	
		－	(大学医師)	(大学医師)	－	(大学医師)	－	
歯 科 口 腔 外 科	新患・再来	寺崎伸一郎	寺崎伸一郎	寺崎伸一郎	寺崎伸一郎	寺崎伸一郎	交代で診察	
		喜多 清大	喜多 清大	喜多 清大	喜多 清大	喜多 清大		
精 神 科 ・ メンタルヘルス科	新患・再来 (完全予約制)	森 裕之	中村 倫之	大島 勇人	休 診	大川 順司	休 診	
緩 和 ケ ア 科	新患・再来 (完全予約制)	柳瀬 豊	－	－	－	田中 裕穂	－	
放 射 線 診 断 科	読影(診察なし)	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	－	
放 射 線 治 療 科	新患・再来	江藤 英博	－	江藤 英博	－	－	－	
麻 酔 科	手術(診察なし)	柳瀬 豊	柳瀬 豊	－	柳瀬 豊	柳瀬 豊	－	
		金子 真也	金子 真也	金子 真也	－	金子 真也	－	
健 診	－	月脚 克彦	田中 裕穂	植山 敏彦	前川 隆一郎	月脚 克彦	－	

(注) 歯科口腔外科の診療受付時間 平 日 (午前) 8:30～11:00 (午後) 13:30～15:00

※ただし、午後の受付は紹介患者さんのみ。また、木曜日の午後については手術のため休診とさせていただきます。

(注) 眼科の診療受付時間 金曜日は手術のため8:30～10:00までとさせていただきます（それ以外の曜日は11:00まで）。

(注) 整形外科の診療受付時間 土曜日のみ 8:30～10:00まで とさせていただきます（それ以外の曜日は11:00まで）。

(注) 緩和ケア科は完全予約制（診療時間14:00～17:00）とさせていただきます。

■ 診療受付時間 8：30～11：00（急患はこの限りではありません）

■ 時間外診療 時間外に来院される場合には、必ず事前に電話連絡し、診療出来るか否かを確認のうえ 来院してください。緊急を要する患者さん優先のため、場合によってはお断りする場合 がございます。※小児科については、時間外、及び休日の診療は行っておりません。

■ 面会時間 平日／午後2：00～午後8：00まで、日曜・祝日／午前11：00～午後8：00まで

■ 書類確認・予約変更 お電話は、平日／午後2：00～午後5：00、土曜／午前8：30～午後12：30まで



まごころと、安心と、信頼と

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険田川病院
地域医療連携室
 TEL 0947-44-0474 FAX 0947-44-0559

(企画・制作)

『地域医療連携だより vol.1』

社会保険田川病院 経営企画課

〒826-8585 福岡県田川市上本町 10-18

TEL 0947-44-0460 FAX0947-45-6540

Email:kikaku@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp